

## 令和元年第6回田原市教育委員会定例会会議録

- 1 開会 令和元年6月21日 午後3時30分
- 2 閉会 令和元年6月21日 午後4時50分
- 3 会議に出席した委員  
花井隆教育長、太田孝雄教育長職務代理者、山本明子委員  
金田真也委員、天野千栄子委員
- 4 会議に出席した職員  
教育部長 宮川裕之  
教育総務課長 伊藤英洋  
学校教育課長 渡邊宏光  
生涯学習課長 森下 錬  
スポーツ課長 粕谷幸充  
文化財課長 増山禎之  
中央図書館長 是住久美子  
教育総務課課長補佐兼係長 小久保義則  
教育総務課主査 彦坂幸子
- 6 議事日程  
別紙のとおり

## 田原市教育委員会第6回定例会議事日程

日 時 令和元年6月21日(金)

午後3時30分

場 所 北庁舎2階 200会議室

### 1 会議録署名者の指名

### 2 教育長報告事項

### 3 報告事項

(1) 教育委員連絡報告事項

(2) 田原市議会第2回定例会一般質問

(3) 小中学校の寄附について

### 4 その他

教育長

開 会 午後3時30分

本日は、何かとご多用のところご出席くださりましてありがとうございます。

ただいまの出席者は、5名であります。定足数に達していますので、令和元年田原市教育委員会第6回定例会は、成立いたしました。

これより開会いたします。

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。今回の署名者として、金田委員と天野委員のご兩名を指名させていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

教育長

それでは議題に先立ち、教育長報告をさせていただきます。

5月10日、第5回定例会、総合教育会議

5月13日、東三河教育資料検討会議

5月18日、市の陸上競技選手権大会。これまで小学生の陸上大会でしたが、今回は一般の方や高校生なども参加の田原市陸上選手権大会という形で行いました。天候は涼しく、熱中症もありませんでした。

5月21日、文教厚生委員会では教育委員会関係で4つ説明をいたしました。1つ目が、学校未来創造計画。2つ目が、空調設備。3つ目が、プリンストンへの訪問について。この訪問では、福江高校が姉妹校提携をしたといういきさつ等も説明に加えました。4つ目に、ふるさと教育センターの設置ということで、文教の議員の方々にご理解をさせていただきました。

5月25日、小学校の運動会。この日は急に暑くなって、熱中症が心配され、学校によってはテントの準備ができたところと、間に合わなかったところがあったりということです。

5月25日・26日、凧まつり等もありました。

5月29日、東三河教育長会議が新城設楽事務所でありました。今回、県教委からの連絡に加えて、県の特別支援教育課長さんから特別支援教育推進についての講話をいただきました。先日、実は県議会で山本議員の代表質問の中の1つで、田原市地区、渥美半島に特別支援学級の推進をという形で、質問をしたところ、知事も前向きに考えておくというお答えをいただいておりますので、何らかの形での実現がなされるのではないかなというように思います。

6月2日、全国の植樹祭。尾張旭の森林公園で、植樹を行った後、11時から天皇陛下、皇后陛下をお迎えした記念式典がありました。

6月4日、教育長の代表者会が県でありました。代表者会では、先生の増員を要望するかどうか、どんな形で要望するかとか、校長の裁量権の拡大、それからスクールロイヤーを入れたらどうかとか、いろ

いろな話題が出てきました。

ひとつ、大変なのは日本語教育で、外国人の雇用推進というのも出ているのですが、それに伴って子どもたちへの日本語教育の問題が最近クローズアップされていて、知立市みたいに、外国人のほうが多いような小学校も結構目立って、西三河あたりは大きな問題になっているということで、何とかうまくやりたいということでありました。

6月7日、中部小学校と東部小学校で小学校英語教育提案授業を行いました。タブレットを中心にしたシステムで、音を出しながら繰り返しをやったり、ここはゆっくりとか、担任の先生がうまく説明を入れていくとか、場面を止めていったりして、子どもたちの集中力をうまく培っていけば、案外いい授業ができるのではないかなということで、今後の見通しが持てました。

6月11日、愛知県道徳教育推進会議があり、これは学校の先生たちも含めて、県PTA連合会の代表や、一般の民間の方も見えたりする中で、愛知県の道徳をどうすすめていくかというものでした。いろいろな話題の中で、子どもたちが評価を気にするというか、いわゆる認められたい、ほめられたいという気持ちで、先生が期待する答えを言う子どもたちになっているということが印象に残っています。

ぜひ、子どもたちの本音が出て、それがいろいろな場面で生かされるような道徳である必要はあるかなということが話題になっておりました。

6月12日、泉小学校と泉中学校の学校訪問。

6月17日は終日、赤羽根小学校の指導訪問。校長先生を中心に気合が入った研究をやっておりました。特に、働き方改革も含めて、いろいろ問題点を出し合う中でどう解決していくかということで、校長のリーダーシップのもとで、いろいろ変わっていける可能性を感じた学校訪問でした。

あとは、議会関係が続いておまして、昨日は、崙山会の理事会。

本日は、校長会、コミュニティ定例会、教育委員会定例会。

また来週は、学校訪問や議会も加わっていきます。部長からも議会についてのお話をいただけますので、私からは以上とさせていただきます。何かご質問等ございますでしょうか。

では、以上で教育長報告事項を終わります。

教育長

続いて、教育委員の皆様方の連絡、報告事項に移りたいと思います。

では、太田委員からお願いいたします。

太田委員

私は、前回の定例会以降は、運動会・体育大会3校、それから学校訪問を2校行かせていただきました。

体育大会につきましては、5月23日に赤羽根中学校の体育大会へ行きました。比較的穏やかな日で、テントはありませんでした。生徒は、

帽子をかぶったり、水筒を持たせたりという配慮はありましたけど、特に当日、熱中症について気にするような天候ではなかったのはよかったと思います。

入場行進、ラジオ体操、競技、それぞれ中学生らしくきびきびと動いていたのが印象的でした。

5月25日は、先ほど教育長の話にもありましたように、少し天候的には熱中症の心配のある日でした。午前中に野田小と赤羽根小へ行きました。野田小につきましては、以前は中学校も入っていましたけれども、中学校は田原中学校へ行った関係で、保育園と小学校と校区と合同の運動会ということで、とてもアットホームというか、穏やかな感じの雰囲気は漂っておりました。

熱中症については、ときどき風が吹いてきましたけれども、児童の控え席には、校区と秋に運動会を行う高松小からテントを借りて設置していました。

保護者については、プログラムにも、場所を指定してそこでテントを設置いただくのは結構ですということが連絡されておりました。

お弁当の置場も校内での置場を案内したり、途中で教頭先生から熱中症対策についてのアナウンスなどもありました。そのようなことが配慮されていました。

それから、そのあと赤羽根小に行きました。赤羽根小のほうも保育園と校区と合同でしたけど、伝統的に校区については、それほど多くの種目が入っていません。赤羽根小もテントは、赤羽根中や高松小から借りて、児童の控え席はテントを設置していましたし、保護者もほとんど控え席はパラソル、テント、いすというような、そんな感じのもので埋め尽くされておりました。

進行の途中で、10分休憩を取って水分補給の時間を取ったりというようなことも行われておりました。

運動会の中身については、大変人数が減って、まとまりがある感じはしましたが、少し寂しい気もしました。その人数が少ない分、学年だけではなくて、縦割りを使ったような形態の種目も取り入れていました。

このところ、マスコミ等で熱中症についての話題が増えましたが、安城市あたりは、半日の学校がだいぶ増えてきたということです。春についても熱中症、それからお弁当をなくして保護者の負担をなくしたり、授業時間の確保などで、これから半日の運動会というものについて、田原市も考えていくようになっていくかなということも考えながら、先進かどうかわかりませんが、安城のほうはだいぶそういったものが増えてきていることが新聞に載っていました。

学校訪問については、6月12日の午前中に泉小、午後に泉中にまいりました。主に、授業を通した先生方、児童生徒の様子、それから施

設について感じたことを報告させていただきたいと思います。

泉小はかなり人数が減ってきましたけれども、今年は、育休の先生が3名みえるということで、新任の先生や教職経験の少ない先生の割合が比較的多くて、管理職や中堅教員の支援が大変だなと思いましたけれども、比較的いい教職員集団のまとまりを学校訪問では感じました。授業も中堅の先生方は、とてもいい授業をやっていますし、教材の扱いや児童への対応等、若い先生方が研修できるようなそういう場があるので、それをこれからいかに上手に生かしていくかということだと思いました。

それから、泉小は大変施設が老朽化して、今設置しているエアコンも、廊下だとか教室の天井のパイプも、むき出しのまま多分いくのではないかなと思い、景観的にはあまりよろしくないなと思いましたけれども、古くなってきたなりにとても環境整備が上手にできているなということを感じました。やむを得ないところは仕方がないと思いますけれども、よく先生方一同も頑張っているなと思いました。

それから午後、泉中へ行きまして、泉中も生徒数が減って令和3年に赤羽根中との統合があるということで、今の1年生が3年生になるときに統合していくわけですがけれども、ふだんの日常の学習活動、学校の生活プラス、いろいろな統合に向けて行事だとか、学習内容だとか、部活動とかそういったものを見通しを持ってやってみえるなということを感じました。

泉中は、管理職は全員男性で、担任の先生に女性の先生が多いということで、実際はどうなっているかわかりませんが、教員集団として、やはり女性の先生方を上手に生かせるようなそういう配慮が大切だなということを感じました。特に、経験上、女性の核になるような先生がいるとうまく回っていくのではないかなということを感じました。

それから泉中も大変老朽化しておりますけれども、統合を見通したような修繕がよくなされておりましたし、校長先生が授業改善ということで、学校経営にも取り組んで、これからいろいろな研修授業だとか、授業公開週間だとか、ローテーションで道徳をやるだとか、そういったものを計画しており、中学校は授業が流れていきがちですがけれども、校長先生がよく考えておられるなということを感じました。

ずっと泉中は、不登校の子が多いことが続いてきましたけれども、1年生のときに不登校だった子が3年生になって、普通に学校に来れておりましたので、そういった事例を繰り返していくことも大切だということを感じました。

以上です。

ありがとうございました。

では、山本委員お願いします。

教育長

山本委員

私は、5月24日、田原中学校の体育大会に出席しました。当日、暑かったですけど、風が結構あったものですから、何とかしのげたのかなと思います。

進行の運びがよくて、スムーズにいているものですから、何事もなかったと思いますけれども、何かいつもと違うなと思ったのは、各競争での応援合戦みたいなものが今年はなかったような気がしたので、何か静かだなと感じました。

そうは言っても、体育大会は走ることとかそういうことが中心で、障害物競走はとても盛り上がり、とても楽しかったです。私がいた間には、熱中症とか事故とかもなかったです。

25日は、中部小学校の運動会に行ってきました。午前中しか参加できなかったのですが、この中で組み立て体操を今年もやっています、校長先生が一番心配していたのが、組み立て体操でけがが起きてはいけないということで、先生方が周りに張り付いている感じがすごく見えて、体操も人の上に乗るといのはなくて、足は地につけたままで手だけ乗せる、こういうやり方の組み立て体操で、安全な方法で、苦勞してやっているところで、この間も組み立て体操をやめるという学校が出てきているというのは聞きましたけど、すごく安全に気をつけてやっているなと思いました。すごく規律正しく、ぱっと手を広げたときに、拍手をいただいて、子どもたちもすごくいい気持ちでできると思うので、続けてもいいと思いました。あれだけ気をつけているので、なるべく続けてほしいなというのが、私の印象です。

私は、この2つの行事に参加させていただきました。

以上です。

教育長

ありがとうございました。

では、金田委員お願いします。

金田委員

5月25日の午前中に、清田小学校の運動会に参加してきました。

全校生徒90名ということですが、コミュニティと一体化した運動会で、地元の人達が積極的に中に入っていた運動会だったなと思いました。

テントは、小学生、保育園もちろんあったのですが、保育園の出番の前に、保育園の子を待機させていたのですが、そこが日の当たるところで、待機時間が少し長かったのか保育園の子が泣き出してしまって、時間通り進めなくてはいけないのですが、待たせるタイミングというのがとても難しいかなと感じました。

短距離走とかは、男女混合ということで、先生に聞いたら、そう体力差はないですよというようなことを言っていて、女の子も負けずに走っていました。

昼からは、中山小学校に参加しました。ちょっと時間があったので、小学校の周りをぐるぐるっと回ったら、プール周りのブロック壁が撤

去されて、金網になっていまして、丸見えだねと言ったら、これからシートを張るんだよと言っていました。大阪府で女の子が亡くなってから1年経つんだなと思いながら、運動会に参加させていただきました。

運動会に関しては、一番印象に残っているのは、帽子取りだとか、騎馬戦、鈴割りに女の子も参加して、全員で行って行きました。それで、男の子は女の子に絶対触れないという、そういったルールがあるみたいで、鈴割りなどは女の子が真っ先に飛んで行って、男の子も行くのだけれど、男の子は手を触れない。ある意味、女性を大事にするという意味では、いい教育なのかなと思って見せていただきました。最終的には、男の子が鈴を割れてよかったなと思います。

あと、清田小学校から中山小学校に行く途中、福江中学校の前を通るときに、土曜日だったのでちょうど部活が終わって帰るところで、亀山のほうに曲がっていく道を自転車走っていると、車が反対車線まで出てよけている姿を見て、道がいろいろ青く塗ってあったりしてあるのですが、ちょっとこれではいつかは歩道があるのかなというのを切に感じました。

どちらの小学校も熱中症に警戒して、少し時間より出てしまったのですが、とても丁寧な運動会だったと思いました。

6月17日に田原市子ども子育て会議に参加してきました。保育料無償化等の説明、今後、統合する赤羽根こども園のことなどの話がありました。中でも、一番気になったのが、『すくっと』の廣田館長がみえていまして、オープンから3万5,000人の来館があったということ、最近では市外からも多く来ているということ、あと、ボルダリングも17時以降になったら小中学生がよく来るということで、とてもいい環境だと言っていた半面、障害のある子にも配慮してほしいというような保護者の方からの意見がありました。いろいろボールプール等あるのですが、例えば自閉症の子には、ちょっと優しくないのかなとか、特に子育てサークル『すまいるたはら』の方が、胸にヘルプマークをつけて遊ばせていたのですけれども、そういったマークが周知されてなくて、つけている意味がないということで、田原市のほうに周知してほしいというお願いを言っていました。

6月20日、南部小学校の学校訪問に行っていました。

低学年がとても多くて、1年生30名、2年生35名という定員ぎりぎりの人数の中、先生が授業をやっていたのですが、そんな中で低学年の子に関しては、支援員の先生がいるととても助かるのだなという印象を受けました。

また、2年生の子に関しては、去年1年生のときに、一緒に給食を食べて思い出のある子がいたので、見ていたのですが、給食のときに、とてもにぎやかだったけど、授業だとやはり静かにやっていて、



教育長

天野委員

先生はよくやっているなというそんな気持ちでした。

以上です。

ありがとうございました。

では、天野委員お願いします。

お願いいたします。

5月15日、田原市の男女共同参画推進懇話会に参加させていただきました。年度初めということで、会長、副会長の選任がありまして、続いて各委員の方からの取り組まれている意見の発表などがありました。8月25日に田原市文化会館で男女共同参画のフェスティバルが行われるということで、委員全体が自動的に運営委員になるので、第1回目の運営委員会の話し合いもありました。当日、行われる予定の田原市の劇団の公演の練習も始まっていて、公募された小中学生や、一般の団員さんたちも頑張っているという話をお聞きしました。

5月25日に伊良湖岬小学校と若戸小学校の運動会に行かせていただきました。

伊良湖岬小学校に初めてお邪魔したのですが、トラックの真ん中の芝生がとてもきれいなグラウンドで、私は土だけのグラウンドしか経験がないものですから、とてもうらやましく思いました。

前日に熱中症対策のために、PTAの皆さんがテントを張ってくださったということを聞きました。校長先生の隣りで、解説付きでとてもぜひいたくな席で見せていただきました。

今、応援団長も女の子が中心で仕切っていて、応援合戦が結構盛り上がるんだよというのを聞いていたのですが、やはり小さな学校ですとクラス内でも赤、白に分かれているので、なかなか練習とか、自分たちで振りを考えたりとかも難しいという中、それを乗り越え、学年縦割りで、小さい子までに頑張って教えていて、本当に一体感があって感動いたしました。

それから、若戸小に移りまして、若戸小も初めて伺ったのですが、若戸校区の運動会も合同ということで、越戸と若見と池尻の地区別対抗の種目がすごく多く見られて、とても盛り上がっていました。

児童のほうはテントがあったのですが、一般席はテント禁止、パラソル禁止ということでした。グラウンドがとても狭いので、校区の運動会ということで、ご家族でみえられているので、見にくいとかご覧になりにくいということで、テント、パラソルは禁止で、ちょっと当日、高齢の方などは、暑そうな感じでした。

また、私の知っている大玉送りは、手で人の上を送っていくのですが、大玉転がしになっていて、少ない人数で工夫しているなど思ったのですが、トラックを半周、赤、白に分かれて、ころころ、

教育長

ころころ、大玉を転がすというのは初めて見まして、大人も混じっているものですから、かなり白熱していて独特だなと思いました。

本当に地区別の種目はすごく盛り上がってしまっていて、3地区なので赤、白と緑という玉がある地区別対抗玉入れというのがあったり、リレーに中学生チーム、OB、OGのチームが出場したりとかというのがあったり、とても温かいというか、すごく盛り上がっていて、私も楽しませていただきました。

6月3日、学校訪問で衣笠小学校のほうに伺いました。本当に、緑が多いなという印象で、校内に張ってあった運動会の写真にも緑が多く映り込んでいて、子どもたちの姿も生き生きして、とてもいい印象を受けました。

また、校内に古墳があるということをお伺いして、これまた珍しいお話を聞いたのですけれども、そういった貴重なことなので、歴史に親しんで、そして、地元を愛する豊かな心が育てられるのだなと思いました。

校長先生も、優しい感じでお話をしてくださって、先生方のとてもチームワークがいいということをお伺いしました。滝頭公園でカレーライスをつくったりだとか、コミュニケーションを取られているということで、職員室内も先生同士が楽しくコミュニケーションが取られるような職員室づくりをすることで、不祥事の防止だとか先生方のストレスの軽減だとかにつながっていかれるのだなと思いました。またお邪魔したくなるような衣笠小学校でした。

以上です。

ありがとうございました。

太田委員も言われていたのですが、半日運動会、田原の場合は、先ほども皆さんの報告にあるとおり、校区の運動会を兼ねているようなところもあり、半日運動会をするのであれば、熱中症対策も含めて、もう少し早めに朝早くスタートするようなことも考えながら、PTAとも検討して、半年ぐらい前には周知できるようにしていかないと、急に言われると非常に困るというようなこともあるので、そこら辺を配慮してくださいということをおっしゃっていただきました。

それから、泉のほうも運動会を保小中と地区で今やっているのですが、土曜日の午後の運動会なので、部活動はなしにしてもらって、地区の運動会へ出るという試みが、今のうちからされているので、あと2年経って統合してもそれはできるだろうなということで、地区なりのいろいろな試みをみんなで話あっていっていただければいいのではないかなというように思います。

それから、敬老席なども学校によってはあるので、細かいところはわかりませんが、そういうのを若戸小あたりもあってもいいかなという感じがします。

教育部長

いろいろなところで運動会のあり方が見直されていく時代になっていくかなというように思います。

たくさんの報告、ありがとうございました。

続きまして、報告事項の（２）田原市議会第２回定例会一般質問についてを事務局から報告をお願いいたします。

お願いします。

現在、令和元年第２回定例会会期中です。資料をご覧ください。前回の教育委員会で、ご説明いたしました議案について、予定どおり提出されております。提出したのが、２ページが一番上、議案58号放課後児童健全育成事業の関係の条例の一部改正、そして３ページの下から２つ目の田原市一般会計補正予算、この中に次に説明しますけど、中部小学校への寄附金を計上してございます。

最後６ページになりますけど、華山会の経営状況。公益財団法人ということで、議会への経営状況の報告というのが義務づけられておりまして、こういった形で報告をしております。

今の状況でいいますと、委員会については原案どおり可決するということまで進んでおりまして、あと最終日に本会議で採決をされる、こういった流れになっています。

次に、令和元年第２回定例会一般質問の概要という資料をご覧ください。

ここで一般質問のことのお話をしたいと思います。

まず、市長が議会で質問に答えるという形ではなく、自分の考えや方針を述べる機会として、２つのパターンがあります。

１番の米印にあるように、毎年１回、当初予算を計上したときに施政方針・予算大綱の説明を行います。こちらは３月の第１回定例会のときに行います。

もう一つの市長の所信表明というものを今回行いました。これは、市長就任後、最初の定例会に行うという取り決めがありまして、４月に無投票で市長が２期目の就任をしたということで、今回の６月の定例会で行っております。

市長の所信表明や施政方針があったときは、代表質問ができるということになっています。代表質問は、２人以上の会派については、代表質問ができるということで、今回は自由民主党田原市議団、自民クラブ、市民クラブの３人の方から代表質問がありました。

３番、一般質問に関する田原市のルールということで、まず、一般質問というのは、通告制になっています。当日、急に質問するのではなくて、こういったことを質問しますという通告があります。

２目として、一般質問の内容は、市の行政に関係のあること。外交問題や防衛のような国の関係だとか、愛知県だとか豊橋市の事務のこと、こういったものに係る質問はできません。

3つ目として、単なる事務的な見解を資するに過ぎないものだとか、事業・制度の内容の説明を求めるもの、こういったものは一般質問ではなく、委員会の質問であるだとか、そういったことでやってくださいということ。そういった議案審議の段階ということで、議案に提案しているものについては質問できません。事前説明といったことになってしまうということで、議案審議の関係のものは、一般質問ではできないという流れです。

4つ目、一般質問の発言順は、受けた順によります。

5つ目、一般質問には、一括質問方式と一問一答方式という2つの方式があります。

一括質問方式というのは、発言回数が3回までというようになっております。当初に質問をし、答弁があります。それで、再質問をして、それに答えます。もう一回だけ、再々質問という形ができます。この質問時間については、制限はありません。

一問一答方式の場合は、発言回数に制限はありません。ただし、質問時間は30分が限度ということで、議場の横に時計がありまして、議員が質問をしている間、カウントダウンされ、残り時間がわかるような形になっております。

4番、一般的な議会の流れということで、第1日目、今回の定例会でいうと6月10日です。このときに、6月10日から最終日6月25日までの16日間にしますという、会期の決定をします。それから市長の所信表明があつて、議案の提案説明、こういったことが初日にあります。2日目、今回の場合は、6月13日。3日目が6月14日ということで、この日は、一般質問があつてから議案の質疑、委員会に付託ということを行います。先ほど見ていただいた議案の中で、52号の人権擁護委員の推薦だけは、委員会付託が省略されて、第3日目のときに、採決まで行われました。それ以外については、各所管の委員会に付託されて、委員会で審議をされるという流れになります。

今は、文教厚生委員会、総務産業委員会、予算決算委員会が終わつて、委員会ごとの採決が行われたというところです。

あと、議会の最終日6月25日に、各委員会での審議の状況を委員長が報告します。委員長の報告に対する質疑、討論があつて、反対討論がある場合は起立表決を行い、反対討論がない場合は簡易表決、こういった形を取っております。

資料2ページからが今回の一般質問の質問と答弁の概要を要約という形で、つくらせてもらったものです。今回の議会では、豚コレラのこともありますが、福祉の関係が非常に多くありました。先ほど出ましたヘルプカードや、中高年の引きこもり、健康づくり、障害者の支援、この辺の質問がございました。

教育関係は、3ページの一番下のところに、小川議員から中学校の

新たな取組みということで、連携型中高一貫教育とコミュニティスクールの質問がございました。この辺は、見ていただければと思います。

あと、最後の6ページのところで、古川議員から安心・安全なまちづくりという質問があったのですが、この中で川崎の事件に関連して子どもたちの登下校、特にスクールバスのところの安全性はどうだというような質問がございました。やはり実際事件の起きたところを見ても、効果的なものはないというところで、今回のお答えとしては、今、警察や青パト隊、交通指導員、防犯ボランティア、こういうもので見守りをやっているのですが、それに加えて事業所だとか地域の方などのネットワークを広げていって、今以上に地域の目を増やしていき、犯罪の抑止を図っていくという、こういったところになっております。今後当然効果的な取組みがあれば、市としても取り入れていくという流れになっていくと思います。

その次に、市長の所信表明をつけさせてもらいました。

1期目の振り返りから始まりまして、3ページをご覧ください。

今後の重点的な取組の方向性ということで、1つ目として、「地域の特色を活かした産業の振興」に力を入れていきますというのが1つ。

2つ目ということで、「出産・子育て・教育環境」を充実させます。

4ページ、3つ目というところで、「福祉・医療」を充実させます。

5ページ、4つ目ということで、「安心・安全で快適なまちづくり」を進めますということで、4つの重点項目において、それぞれこういったところを特に力を入れていきますという所信表明を行いました。

これから、財政の厳しい状況が続いていきますけど、私たちといたしましては、この所信表明に沿った形の事業提案、事業の推進を図っていくというようなことです。

それと、この流れの中で、今、市議会の話をしていただきましたが、教員長の報告にもございましたとおり、同じ時期に愛知県の定例会が開かれておりました。その中で、教育の関係として、まず1つ、現在、小中と高校で100人を超す常勤講師の不足があります。その対策についてということで、議員からは、退職後の免許更新について配慮したらどうですかというところ、県の教育委員会からは、教員の採用を増やしていきますという回答をされておりました。

もう1つ、こちらの地域の議員であります山本浩史議員が、自民党県議団の代表質問に立ちまして、先ほど教育長からもありましたけど、今、特別支援学校が一番近いところで豊橋市のくすのき特別支援学校、肢体不自由でいうと、豊橋市の特別支援学校、知的でいうとくすのきに入れない子は、豊川の特別支援学校に行っているということで、非常に長時間通学になっている。これについて解消はできないかというところで、代表質問の中に入れられました。

これに対して、知事から、長時間通学の解消を図るために、スクー

ルバスの増車をしてきたけれど、それでも解消できない地域があるということで、特にこの渥美半島について、できるだけ早期に、渥美半島先端地域を含む田原市内で特別支援学校の高等部に相当する教育が可能となるよう、整備を進めてまいりますという答弁がありました。

これは、知事の答弁なものですから、田原市内に特別支援学校の高等部に相当する教育が実施できる施設、これが早いうちに整備されてくるという流れになっていくと思います。また、これについていろいろな情報が入りましたら、教育委員会の席をお借りしまして、報告をさせていただきたいと思います。

教育長

私からは、以上です。

ありがとうございました。

ただいまの部長からの報告について、ご質問等いかがでしょうか。

はい、よろしいですかね。

では、ご質問もないようですので、続いて（３）小中学校への寄附についての報告をお願いします。

教育総務課長

教育総務課から報告いたします。

平成31年度教育関係の小中学校寄附一覧をご覧ください。

先ほど、部長から話がありましたとおり、前回報告の田原中部小学校への寄附については、6月補正で対応させていただきます。

本日は、前回定例会以降2件の寄附がございましたので、ご報告いたします。

まず、田原市グラウンド・ゴルフ協会から教育環境の充実のためということで、グラウンド・ゴルフ用具一式を、神戸小学校、田原東部小学校、田原中部小学校、衣笠小学校及び中山小学校の5校に寄附がございました。12万5,000円相当ということです。

次ページに実際に寄附されたグラウンド・ゴルフ用具一式の写真がつけてあります。

もう1点が渥美ロータリークラブから、こちらは学校の指定はございませんが、教育環境の充実のためということで、現金で30万円の寄附がございました。次回の9月補正で対応させていただきます。歳入に組み込み、支出のほうにつきましては、学校指定はございませんので、毎年2校ずつ研究発表校がありますので、研究発表校用のプロジェクターを2台購入させていただいて、研究発表校に毎年まわしていくというような流れで使用していきたいと考えております。

寄附につきましては、以上の2点でございます。

よろしく申し上げます。

教育長

今、寄附についての報告がありました。

ご質問いかがでしょうか。

太田委員

お願いします。

教育長

はい。

太田委員

グラウンド・ゴルフ協会のグラウンド・ゴルフ用具の寄附の件ですが、寄付先については、学校指定での寄附でしょうか。

教育総務課長

はい。その5校がグラウンド・ゴルフのクラブ活動をしているということで、グラウンド・ゴルフ協会のほうから、そういった学校へ指定ということで、5校に配布がありました。

太田委員

わかりました。ありがとうございます。

教育長

グラウンド・ゴルフもゲートボールとまた違って、人気も出ているのかなど。この前も市内の女性の方が全国大会に出場していたり、グラウンドゴルフも健康的にいいのではないかなど。

いろいろなスポーツで楽しめるといいかなと思いますので、子どもたちもぜひ、せっかくいただいたものですから、活用してもらえたらと思います。

そのほか、いかがでしょうか。

では、ご質問もないようですので、以上で報告事項を終わりたいと思います。

教育長

次に、その他ですが、事務局から何かございますか。

学校教育課長

お願いします。

小学校の水泳大会、それから9月に入ってからの中学校と小学校の運動会及び体育大会の教育委員の方々の割り振り当番について、会終了後に調整を図らせていただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。

以上です。

教育課長

続いて、文化財課長。

文化財課長

文化財課からですが、委員の皆様方に、7月20日から開催されます展示会のご案内を配布させていただきました。

浮世絵の展示ということで、これに関するイベント、関連事業として本日担当が、清田小学校に出前授業に行っております。版画と申しますか、浮世絵のデモンストレーションみたいなことをやっております。以前校長会のほうでお世話になって、やっておりますので、まだ今のところ1校ですが、全校来ていただけるとありがたいなというように思っております。新人の初めての展示でございますので、どんな感じに仕上がっているかまだ、わかりませんが、ぜひご覧いただきたいなと思いますので、よろしく願いいたします。

教育長

浅野学芸員が力を入れて、今回、清田で出前授業をやっているようですが、また、評判等を聞いて、ぜひ広まるように、浮世絵も「こわい絵」ということでやっておりますので、夏のときですので、基本的に涼しくなるといいかなと思いつつながら。

できれば博物館は、なかなか小学生にとっつきにくいような部分があったかと思っておりますので、ぜひ親しみのある博物館、図書館も含めて、

文化財課長

教育委員の施設にも顔が出せるようになるといいかなというように思います。

チラシの裏側を見ていただきますと、スタンプラリーということで、関連施設というか、図書館や吉胡貝塚資料館も含めて5カ所、こういうところを回るとスタンプが押せ、全部押すと浮世絵缶バッジを進呈するという特典もついてございますので、ぜひこちらのほうもよろしくお願ひしたいなと思います。

教育長

では、日本に1つしかないバッジももらえるようですので、上手に学校でも宣伝してもらえるといいかなと思います。

では、その他、各課で報告したいなということがあればと思いますが、どうでしょうか。

文化財課長

すみません。文化財課のほうですが、近ごろ学校に出前講座だとかに出させていただいているのですが、去年ぐらいから先生の対応が変わってきました。というのは今までは、我々がプリントを持って知識を話していくことが多かったのですが、去年ぐらいから劇場型の授業に我々が参加して行って、ここにいる人は誰かなということで、子どもの興味を引いていき、最終的には、子どもにいろいろなことを考えさせながら授業をしていくというようなスタイルが多くなったなというような、少し変わってきたなという印象があります。

以上です。

教育長

学校教育の中でも、新しい学習指導要領もあるんですけど、知識・技能の部分が高めるということが今まで多くあったのですが、その次の観点に、思考・判断・表現。これについてはどうかという自分なりの考え、それからどうあるかなという判断力、それを表現という形で、口頭や紙面など何かの形で、自分の今まで培ったもの、今考えていることを表すということ。

中学校でも先生が上からどんどん教え込んでいくような授業がまだ多く、そういう授業ではなく、子どもたちが考えながら、先生と一緒に勉強していく。自分から進んで調べたい、知りたい、学びたいというような気持ちができるような教育に転換していかないといけない。

やはりいろいろ広く、深く考えたりというような考え方を鍛えていく中で、いろいろな考えができますし、それから子ども同士の意見を出し合ったりする中で、自分の考えが磨かれていく。

もっと子どもたちが興味、関心を高めて勉強をしたくなるような授業転換を図ってほしいというようなことで、今、一所懸命やっているんですけど、自分が子どもに教わった授業がイメージにあるのか、若い先生が意外と古い授業をやっているということで、ぜひ自分から改革をしてほしいと思います。

太田委員

太田委員もこの間、泉小、泉中の授業の授業を見てどうでしたか。やはり、小学校のほうがいい授業をやっていますね。



教育長  
太田委員

小学校のほうがいちろい道具も含めて、子どもの表情もよいか。中学校はテストだとか、入試だとかそういう何か押さえつけられているものがあるって、小学校だと本当にそういうものはないので、割と広く柔軟にやれるのですが、中学校はどうしてもここまでは進んで、テストまでにやらなければいけないとかというものがあるものですから。わからないでもないですけど、やはり学期に1回とか、ある程度見通しももってそういう授業をやっていけるといいということは、教育委員会の先生方も校長会の中で言ってみえましたがそのとおりだと思います。いつもそういう授業はできないと思いますので。

教育長

少し話題になったのは、東京の麹町中学校では中間、期末テストなどを取りやめにして、普通の試験などで評価していく。部活動を含めていろいろなものを斬新というか、変えていくと十分できるではないかと。

スポーツ課

その他、何かありましたら。  
スポーツ課ですが、皆さんも新聞でご覧になったと思いますけど、東京オリンピックの聖火リレーを市のほうで手を挙げたのですけれども残念ながら落ちてしまいました。今回、パラリンピックのほうの聖火リレーは、県内、どこの市町でもやれるということで、手を挙げて、一工夫したものを少し企画しておりますけれども、いかんせん来年のことですので、まだちょっとどうなるかなというところです。

教育長

まずは、企画をして第一歩を踏み出さないと、いろいろ進められないので、教育委員会6課あるのですけど、いろいろな新たな歩みを大事にしてもらいながら、一人一人がモチベーションをアップしてもらおうといいかなと。特に課長さんあたりでリードしてもらって、職員の働きがいをつくってもらえたらと思います。

山本委員

せっかくですので、その他いかがですか。  
質問ですけど、もしわかれば、今、学校に行けていない不登校の子がどれだけいるのかと、それに対する対策がどうなっているのかを教えてくださいたいと思います。

学校教育課長

今、正確な数字をぱっと申し上げられないので、申し訳ないのですけれど、毎回、いわゆる30日を超える欠席を1つの基準にしているものですから、まだ6月の段階ということで、年間通しての日数を超えている子というのは、中学校のほうで確か6名か7名ぐらい、小学校が1名、それぐらいの人数です。ただ、年間通じていけば、そういったお子さんが増えてくることは考えられます。

学校のほうの対応としては、まずは登校を呼びかけたり、それから登校してきたときに、そのまま教室に入れる子もいるし、入れない子もいるということで、別室での対応をしていくと。それについては、手のあいている、授業があいている、それから担任を持っていない、そういった者が時間を変えながらその子の勉強を見たり、相談に乗っ

たりということをしています。

それから、本年度2名のスクールソーシャルワーカーがおりますので、その者たちが学校に要請を受けて配置をされて、その子の状況を確認しながら、家庭との連絡とか、ただ、その子たちもカウンセラーではないので、あまりその子にカウンセリング的なことになってしまうと、また違う仕事になるのですけれども、そのあたりは、スクールカウンセラーの人数に対して、やはりそういった心の悩みを持っている子たちというのが多いものですから、どうかかわり方がより効果が上がるかということを探している状況であります。

あとは、それぞれ各校に配置されているスクールカウンセラーとの面談。これについては、お子さんの悩みはもちろんなのですが、それに付随しての親御さんの悩みとか、思いとか、そういったところもかなり深刻な部分もあると思いますので、ぜひ親御さんにも話を一緒に聞いてほしいなということも、事例ごとではありますが進めている、そんな状況であります。

教育長  
山本委員

あとで資料を用意しますので。

サポートセンターのほうへ直接行かれる方も見えると思うのです。各校でやってみえると思うのですが、サポートセンターに行ったりとかのパイプがなくなっている感じがあるのですけれども、1回そこら辺の様子も見てみたいなのがあります。何か、サポートセンターに行く子がそこでまた、学校へ行けるようになったとか、そういう話も聞いたことがあったので、学校だけで悩まずに市教委やサポートセンターであったり、包み込むようにして、一人でも学校に行けるようにしているという話をまた教えてください。

学校教育課長

選択肢がたくさんあるということが大事で、先ほど申し上げなかったのですが、サポートセンターの役割というのはとても大きくて、くすのきの学級もそうですけれども、それぞれサポートの相談員の先生方が行っている学校もある、それから要望のあるところに駆けつけてくれて、相談に乗っていただく。そういったところから、サポートセンターとつなぐことによって、学校ではないまた違う雰囲気の中でいろいろ接点を持てるというのは、すごく大事だと思っています。

山本委員  
教育長

ぜひ活用されていくといいと思います。

例えば、留守番電話ではなかなかいかないので、一部始まったようですが、LINE（ライン）によるいじめ・不登校相談的なものも持たせるみたいな形だけど、ひょっとして持っている子にとっては救い道で相手がLINEなら本音が出しやすいかと。

スクールソーシャルワーカーの2名ですけど、大学を出てまだ2年、3年という非常に若い子たちがやっているのです、共感的な立場で話し合いなりして、彼らもときどき家庭まで入って、学校の先生以上に入れる場面もあります。家庭によっては先生には伝えたくないというよ

うなこともないわけではない。いろいろと家庭の状況があるので。

そのほか、よろしいでしょうか。

では、委員の皆さんもご意見いただきましたので、本日の議事は全て終了ということでお願いしたいと思います。

皆さんご協力ありがとうございました。

これをもちまして田原市教育委員会第6回定例会を閉会とさせていただきます。

お疲れさまでした。

閉 会 午後4時50分

(会議録署名人)

教育長

委 員

委 員